

# 3月号 2025年3月24日発行 No.262 運営通信

この「運営通信」は、総代の皆さんに毎月の生協の事業や活動、経営に関する情報をお伝えするためにお届けしています。

## 新店舗の起工式を行いました

2025年度 秋に富山市経堂にオープンする新店舗の起工式を2月20日(木)に行いました。神事を執り行った後、寺岡理事長より挨拶がありました。

とやま生協では『住み慣れた地域で、安心して元気に暮らし続けられる地域社会』を創るため、宅配を中心に配食や福祉の事業を行っており、今回、この経堂にできる新しい大型店舗を起点に、地域や県民の皆様へのさらなるお役立ちを目指していること、店舗として食の分野でお役立ちするだけでなく、2階に設けるキッズスペースや組合員活動が行えるスペースなどの活用を通して、地域がより元気になれるよう準備を進めていくことを確認しました。

起工式には新庄校下自治振興会長様や、経堂町内会長様をはじめ、とやま生協役員職員、工事関係者35名が参列しました。いよいよ新店舗建設工事がはじまります。工事終了は2025年8月末を予定しております。



理事長挨拶



出席者記念撮影



清祓(きよはらい)の儀



地鎮(じちん)の儀



2/21(金)撮影  
建設工事スタート

### 【目次】

1、新店舗の起工式を行いました	表紙
2、「くみかつサポーター」登録募集のご案内	P 2
3、2024年度「福島の今を知る報告・学習会」を開催しました	P 2
4、理事会だより、経営実績報告	P 3
5、重点課題で取り組むこと	P 3
6、氷見市社会福祉協議会に災害支援募金を贈呈	P 4
7、能登半島地震復興支援ボランティアバスを運行しました	P 4

**とやま生活協同組合**  
<https://www.toyama.coop/>  
 富山市金屋555  
 フリーダイヤル  
 ☎：0120-555-192  
 発行：経営企画G



# 「くみかつサポーター」登録募集のご案内

とやま生協には学びや楽しい体験、交流を応援する場である『組合員活動』があります。県内各地で活動を行っており、2024年度はのべ4万人以上の方が参加されました。企画内容も多種多様で、活動もたくさん開催されていることから、イベント時の支援(お手伝い)をしていただける方を『くみかつサポーター』として募集します。(登録制)生協の組合員イベントと一緒に活動しながら、たくさんの方と関わり、楽しみませんか？

## 【くみかつサポーター 活動内容】

### とやま生協で行われる各種イベントのサポート

(参加者のまなびの支援、安全見守り、お子さんへの励ましの声掛けなど)

詳細は3/24(月)週配布の『くみかつサポーター』登録募集の案内チラシをご確認ください。

## 【2024年度 サポーターにお手伝いいただいた活動】

・展示案内



アースデイ2024



・作業補助

とやま環境  
フェア2024



田植え体験

・安全見守り

## とやま生協の組合員活動

組合員がくらしの中でやってみたいこと、学びたいことを生協を通して活動することを組合員活動と位置づけ、その活動を応援しています。

- 学びたいテーマが決まっている・学んだことを活かしたい … 専門委員会
- 身近な地域で交流し、商品や活動を広めたい … 地域会
- 自分の「やりたいこと」から始められる … 生協クラブ・サークル



等々沢山の組合員活動があります！！

お問い合わせは とやま生協 組合員活動支援グループまで  
☎076-443-8806 受付時間(月)~(金)9:00~18:00

# 2024年度「福島の今を知る報告・学習会」を開催しました

東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故から14年が経過しました。とやま生協では東日本大震災以降、合併前から被災地支援活動を10年以上にわたってすすめております。

3月8日(土)、福島の現状を知り今後の福島への支援のあり方を考える機会として、「福島の今を知る報告・学習会」を開催しました。

昨年の夏に開催した福島復興支援視察交流ツアーで現地を案内してくださったみやぎ生協・コープふくしまの宍戸 義広氏より「東日本大震災・福島第1原発事故から14年～ふくしまの今」と題してご報告いただき、福島の復興状況や課題について理解を深めました。

また、視察交流時にお世話になった福島県飯館村住民の佐藤さん・佐々木さんにもお越しいたご報告いただき、「原発事故の避難から帰村、いま思うこと」を語り部としてお話しいただきました。

会では、昨年夏の福島復興支援視察ツアーに参加した高木さんから現地で体感した福島の復興の様子等の報告をいただきました。

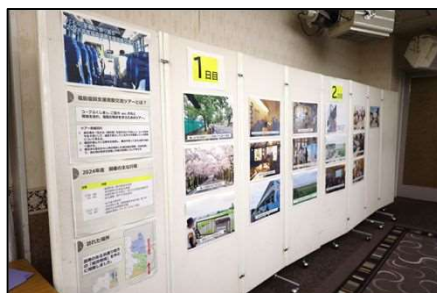
(会場:ボルファートとやま、組合員・役職員 48名参加)



みやぎ生協・コープふくしま 宍戸 義広氏



復興支援ツアーの参加報告をする高木さん



会場では復興支援ツアーの報告展示も行いました



会場の様子

## ◇話し合われたこと

### (承認事項)

1. 2024年度1月度の事業・活動および経営報告の件
2. コープ北陸システム投資に伴う貸付の件
3. 新店舗職員用駐車場用地取得の件

### (協議事項)

1. 第2次中期3か年計画の件
  - (1) 第2次中期計画 重点戦略課題に対する実施計画
2. 2025年度基調方針の件
  - (1) 2025年度重点戦略課題に対する実施計画 (2次案)
  - (2) 2025年度経営計画 (1次案)

### (確認事項)

1. 2025年度機関運営方針および機関会議スケジュールの件
2. 2025年度経営組織図と管理職人事の件
3. 2024年度内部統制まとめと2025年度方針の件

## ◇1月度 事業・経営報告

### (全体経営報告)

- ・総事業高は14億6,234万円で、予算比 97.7%、予算差-3,428万円です。
- ・経常剰余金は2,101万円で、予算差-832万円の実績です。

### (機関運営、組合員活動報告等)

- ・能登復興支援ボランティアの事前登録を12月から開始し、103名の登録がありました。
- ・組合員活動参加は、ブロック協議会・委員会に125名が参加、12地域会で69名、せいきょうクラブ5回で33名の参加がありました。

## 重点課題で取り組むこと

### ◆組合員へのお役立ち

春のお友達紹介キャンペーン開催中 【新規加入特典期間：～5月23日(金)まで】



身近に生協をお勧めしたい方はいらっしゃいませんか？

- ・職場の同僚
- ・妊娠中の方やお子さんが小さい方
- ・お買い物に困っているご両親やお友達

新規加入のうれしい特典が盛りだくさんのこの機会に、ぜひご紹介ください。



ご紹介下さった方が生協に加入されると、「紹介した組合員」に**1,000ポイント**、「ご加入された方」に**500ポイント**をプレゼントします。

新規加入された方には…



**お試しサンプルセットをプレゼント**します。(AorB)  
※「個人宅配」か「グループ宅配」をご利用いただくことが条件となります。



とやま生協の公式LINEを友だち追加すると、さらに**300ポイントプレゼントのチャンス**も☆  
※抽選で250名様限定



生協をおすすめしたいという方がいらっしゃいましたら、  
配送担当者にお伝えいただくか、コールセンターへご連絡下さい。

とやま生協 コールセンター 0120-555-192 受付時間 (月)～(金)8:30～19:30



WEBからも  
受付しています

# 氷見市社会福祉協議会に災害支援募金を贈呈

2月13日(木)に氷見市災害ボランティア・支えあいセンター(氷見市いきいき元気館内)にて、とやま生協から氷見市社会福祉協議会へ災害支援金100万円を贈呈しました。

この災害支援募金は、2024年10月に組合員・役職員に協力を呼びかけてお寄せいただいた「能登半島地震及び能登豪雨災害支援募金」の中から、氷見市社会福祉協議会「氷見市災害ボランティア・支えあいセンター」が取り組む災害ボランティア活動と被災者支援活動に役立てていただくものです。寺岡理事長は挨拶の中で、「復興が道半ばであるなか、氷見の皆さんに笑顔が戻ってくるように今後も支援を続けてまいります」と述べました。

また3月7日(金)には同じく「能登半島地震及び能登豪雨災害支援募金」の中から500万円を日本生活協同組合連合会に送金しました。日本生協連は、被災者のくらしの再建と、現地の復興活動を支援するため、全国の会員生協に災害支援募金を呼びかけており、寄せられた募金を義援金(被災した方に直接配分)と支援金(被災地への支援活動のための費用)として被害の大きかった自治体や、被災者支援活動を行う団体等へ送金しています。



氷見市社会福祉協議会 高木義則会長(左)と寺岡理事長

# 能登半島地震復興支援ボランティアバスを運行しました

運営通信12月号の表紙でも募集案内をしておりました「能登半島地震及び豪雨被災地支援ボランティア事前登録者」によるボランティア活動が2月22日(土)に氷見市内で行われました。2月末現在、組合員とご家族の100名以上の方にご登録いただいております。

今回のボランティアバスには、復興支援ボランティア登録をした組合員12名ととやま生協の職員6名の計18名が参加しました。最初に氷見市災害ボランティア・支えあいセンターで活動の注意事項などの説明を受けた後、ボランティア依頼者のご自宅へ向かいました。

ボランティア活動先は、公費解体が決まり取り壊す建物の中の片付けが必要な方の家でした。「少しずつ片づけをしていたが、つつい残しておきたい物が増えてなかなか片付かないので、思い切って処分するために今回災害ボランティアにお手伝いをお願いした。」とおっしゃっていました。

活動は1階、2階に分かれてまず必要な家財を運び出し、新しいものや思い出になるようなものは家主と確認をとりながら分別しました。今回のボランティアには女性登録者が多く参加しており、不用品の分別作業等をテキパキとこなされ大活躍でした。分別した災害ごみや家財等、トラック計6台分を運び出しました。



ボランティアセンターの方からの活動の注意事項説明



グループに分かれて家財の分別作業



トラック6台分の不用品が運び出されました

今回新しい一歩を踏み出すためにボランティアを依頼され、ご縁があって私たち生協が依頼主の方の一歩を踏み出すお手伝いできました。とやま生協はこれからも被災者の方々に寄り添いながら、支援活動を続けていきます。



2/22ボランティアバス参加者(別途個人参加ボランティアさんも一緒に活動しました)